

2024 年度第 1 回愛媛県がん相談員研修会 「事例検討会～評価表を用いてより良い相談対応について考える～」 活動実施報告書

記載者: 篠原瞳

I. 企画概要

企画名

2024 年度第 1 回愛媛県がん相談員研修会
事例検討会～評価表を用いてより良い相談対応について考える～

主催

愛媛県がん診療連携協議会 がん相談支援専門部会

開催日時

2024 年 9 月 28 日(土)13:00～15:00

開催方法

集合研修 (会場) 住友別子病院 総合棟 2 階 多目的ホール
愛媛県新居浜市王子町 3-1

目的・目標

- ・評価表を用いて事例を振り返り、相談者にとってより良い相談対応について考えることができる
- ・相談員が個々の相談対応について気付きを深め、客観的・多角的観点を学ぶ

運営スタッフ

講師	講義:がん相談対応評価表の使い方 福島美幸 先生
司会	関木裕美(四国がんセンター)
ファシリテーター	川中真紀(市立宇和島病院) 濱田由香(愛媛県立中央病院) 大西明子(四国がんセンター) 篠原瞳(四国がんセンター)
サブファシリテーター	武田千津(愛媛県立中央病院) 松田まどか(愛媛県立中央病院) 松岡誠子(済生会今治病院) 山本智子(松山赤十字病院)
その他	和田美恵子(住友別子病院) 塩見美幸(愛媛大学医学部附属病院)

受講対象者 (受講定員 20 名、受講者 10 名、欠席 0 名)

- ・愛媛県内を中心に全国の拠点病院・がん診療連携推進病院のがん相談支援センター相談員
- ・他県からの参加も可
- ・がん相談に従事する相談員(医師、看護師、MSW、心理士等)

受講条件

「相談対応の質保証(QA)を学ぶ」研修(主催が国立がん研究センター及び各都道府県がん診療連携協議

会等)を見受講の場合は、国立がん研究センター主催 がん相談員研修/基礎研修(2)の eラーニング講義「相談対応の質の評価」神戸大学医学部附属病院 酒見惇子(2023年4月収録 2024年2月公開)を受講する。

内容

- 10:00~11:30(90) 運営委員、ファシリテーター、講師打ち合わせ
- 11:30~12:30(60) 昼休憩
- 12:30~13:00 参加者受付
- 13:00~13:10(10) 事務連絡 オリエンテーション
開会挨拶 がん相談支援専門部会 部会長(四国がんセンター 羽藤先生)
講師・ファシリテーター紹介 参加者自己紹介
- 13:10~13:25(15) 講義 評価表の使い方
- 13:25~14:10(45) 事例紹介 個人ワーク
- 14:10~14:40(30) グループディスカッション
- 13:40~14:55(15) 全体共有
- 14:55~15:00(5) 閉会あいさつ アンケート案内 事務連絡等
- 15:00~16:00(60) 片付け 振り返り

Ⅲ群登録

国立がん研究センター実施の「認定がん専門相談員制度」におけるⅢ群研修の単位認定申請を行い、承認された。

Ⅱ. ワーキングの打ち合わせ・振り返り会

1. 打ち合わせ会(10:00~11:30)

- ・講義内容に変更なし。
- ・逐語録とアンケートは研修終了後に回収する。
- ・個人ワークの進行の確認。評価表の 15.16.17(アセスメントを行い主訴とニーズを的確に捉えているか)から記入する。時間が余った場合は、12.13.14(相談者の状況を的確に把握し確認しているか)に取り組む。
- ・グループワークの進行の確認。最初に、参加者には「評価者が感じた相談の印象」について発言してもらう。15~17 はまとめて発言してもらう。代替案(具体的な言い回しやフレーズ)について検討し、積極的に言語化できるよう促す。
- ・全体共有では、参加者から感想を述べてもらう。参加者全員から一言ずつでも発表できればよい。

2. 振り返り会(15:10~16:30)

1) 司会進行

- ・参加者の自己紹介をオリエンテーションの場でできたことで、各参加者の思いや参加目的など共有できてよかった。
- ・主訴とニーズについて 15~17 までセットで発言することを再度伝えておくと良かった。
- ・QA 研修未経験者が多かった為、主訴とニーズの項目(主訴 1~4, ニーズ 1~2)は考えられる数だけ記入したのでよいこと(全て埋める必要はないこと)を伝えておくと良かった。
- ・参加者の感想や発言について、理解が深まるよう要約、コメントされていてよかった。

2) 講義

・時間がタイトではあったが、話す速度もちょうど良く、聞きやすかった。内容も分かりやすかった。

3) ファシリテーター・サブファシリテーター

・ロールプレイで事例提供できたのが良かった。逐語録のみで進めるよりも分かりやすかった。

・QA研修未経験者は評価表の作成に戸惑っていた様子だったが、今後の相談事例で活用していきたいとの意見も多かった。

・事例に対して、受講者それぞれの印象が共有できたのは良かった。

・相談の印象については、肯定的な評価をする一方で、「患者本人の気持ちはどうなのか」、「相談員主体になっているのではないか」との意見があった。印象を述べることでお互い引かかる点を最初に共有できた為、グループワークを進行しやすかった。

・15～17は3をつける人が多かったが、12～14に一度戻ること、15～17を見直し、修正する人もいた。12～14に立ち返る事は気づきを深めるのに効果的だと感じた。

・12～14を考えることで、15～17の主訴とニーズにつながるのではないかと。12～14は時間を区切るなどの工夫をして先に取り組んでもらうようにしても良いのではないかと。

・事例提供者が傷つかないようお互いが配慮し、グループワークを進めることができていた。

研修会終了時には参加者から「すっきりしました」と発言があった。皆の意見を通して学びを深められたのではないかと思う。

・がん相談の経験が少ない受講者もいたが、自分なりの意見を出すことができていた。

・事例検討だけでなく、「相談支援の周知をどうしているか」等他施設の取り組みについてお互いに話を聞ける場にもなった。

・2時間の研修は短い、研修会で事例検討が完結するという考えより、評価表を活用した振り返りを自施設で取り組んで活かしていけるかを考える研修会になれば良い。

・個人ワーク45分、グループワーク30分について、受講者にQA研修未経験者が多い場合、書き込む手が止まってしまっている人が多い。時間配分を逆にしても良いのではないかと。

⇒時間配分については、今後の参加者の状況(人数、受講歴等)によって検討していく必要あり。

・3人のグループより、2人のグループの方がワークの展開が速かった。短時間の研修ではグループの人数の設定も考慮が必要。

・研修会最後に事例提供者への労いがあったら良かった。

Ⅲ. 研修実施結果

1. 受講者背景

受講者計 10名 内訳

施設別：都道府県がん診療連携拠点病院 1名、地域がん診療連携推進病院 6名、
地域がん診療病院 1名、がん拠点病院申請中 2名

県別：愛媛県 7名、愛媛県外 3名

職種別：看護師 5名、MSW 5名

2. アンケート集計結果より抜粋

回答数 17件(スタッフ含め 21名中)

1) 参加理由

「自己研鑽」が 15件と最も多く、続いて「職務上必要と感じた」(11件)、「テーマが面白そうだった」(5件)と

いう意見が多く、自発的に学ぶ姿勢があると考ええる。

2) 研修目的の理解・満足度

- ・「評価表の使い方を理解することができた」は、「十分理解できた」47%、「まあまあ理解できた」53%
- ・「大変満足した」88%、「満足した」12%と研修会全体の満足度は高評価だった。
- ・「今後評価表を用いた事例検討を自施設で実施しようと思う」について、「とてもそう思う」53%、「少しそう思う」47%であり、受講者全員が自施設で取り組みたい意向があった。

3) 受講者からの意見

- ・進行がスムーズでよかった。時間が短いにも関わらず、中身が濃いものであり、吸収がなかなか難しかった。体力的には大変ですが、分割しながらゆっくり長時間で学びたいと思いました。
- ・自分で気づけなかった視点がたくさんあり、患者家族の情報を引き出すための新しい視点到気づきました。また評価表を用いて、複数人で事例検討することの大切さについても学ぶことができました。
- ・他の方の意見を聞き、相談員としての考え方や関わり方、言葉がけなど新たな発見ができ、これからの業務に活かしていきたいと思いました
- ・評価表について講義で学び、理解したつもりでさえ記入しようと思うと筆がとまる、という状況なので、まだまだ訓練が必要だなと思っています。
- ・今後の相談対応にとっても参考になりました。ほかの相談員さんの意見が聞けてよかったです。
- ・GW時間がもう少しあるとよいと思いました
- ・早速、明日から日々活用していきたいと思います。評価表を用い、相談の質改善に努めていきます。
- ・たくさん意見を聞くことができ、今後の相談対応に活かせればと思いました。
- ・構造化したルール(評価表)があると、複数人でフィードバックを行う際に、とてもやりやすかったです。今後、面接、電話応対するとき、評価表を意識しながらのぞみたいです。
- ・グループ内の意見、他のグループの意見がきけて勉強になりました
- ・他の参加者の意見を聞き、新たな気づきがありました。評価表を自施設でも取り入れたいと思うが、時間の確保等課題はあり、今後検討していきたいです。

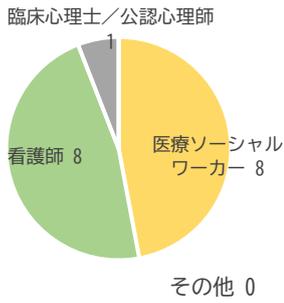
IV. 今後の展望

- ・参加者は少なかったが、意見交換を活発に行うことができ、短時間で密度の濃い研修ができた。
- ・県外(徳島県、福岡県)からの参加者もあり、普段は交流のない他施設の取り組みについて共有できた。
- ・相談員研修では初めて2時間の研修会を実施。短時間の為、学習内容に限りはあるが、今後の自施設の取り組みのきっかけになる研修会になれば良いと考える。企画運営側の負担軽減と、受講者の参加しやすさにメリットがあり、今後2時間の研修会を継続する方向で、QA 評価表を使用した事例検討会を定期的に計画していけると良い。

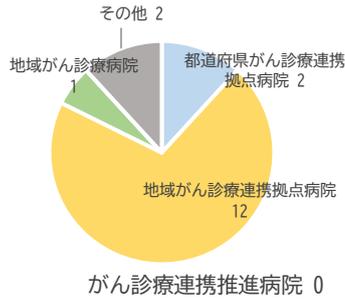
研修後アンケート結果

参加者10名 ファシリレーター・サブファシリレーター8名 回答者17名(回答率 94.4%)

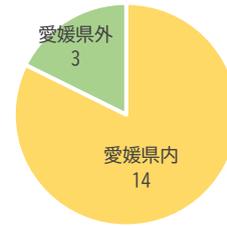
1. 職種



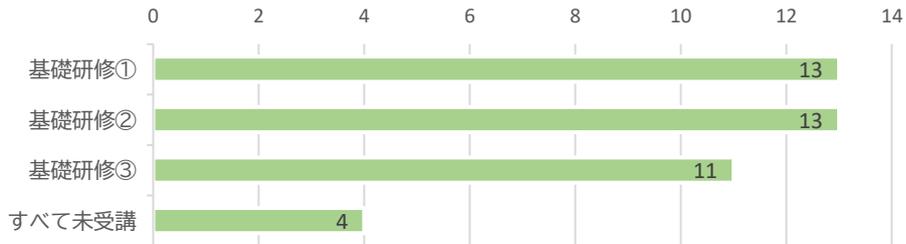
2. 所属機関の種類



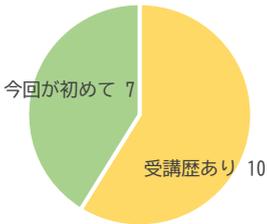
3. 所属機関所在地



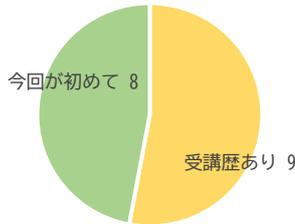
4. 国立がん研究センター主催 がん相談支援センター相談員基礎研修受講歴



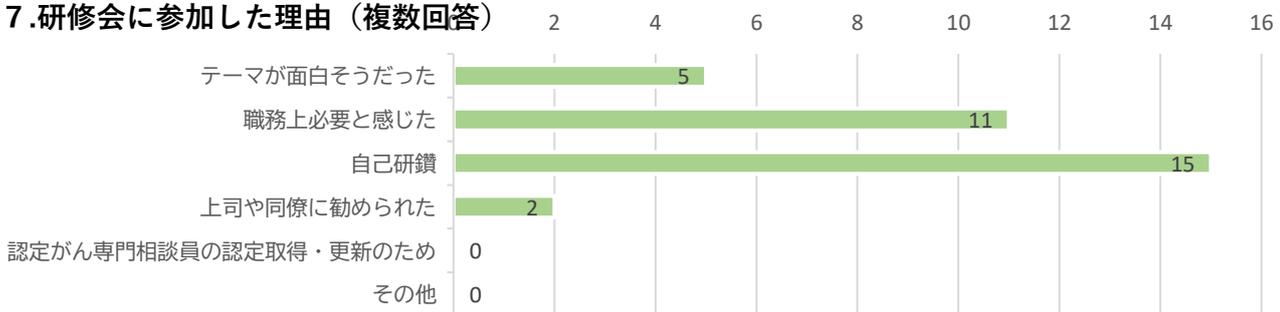
5. 愛媛県がん相談員研修受講歴



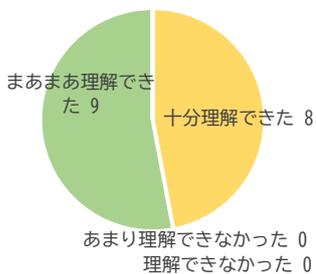
6. 評価表を用いた相談対応研修参加経験



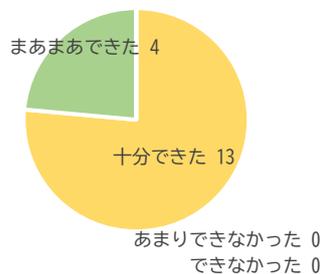
7. 研修会に参加した理由 (複数回答)



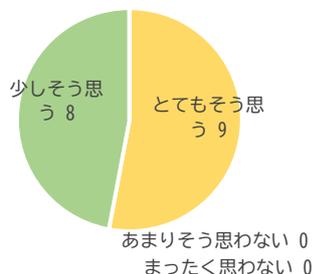
8. 評価表の使い方を理解することができた



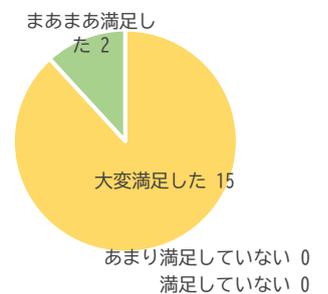
9. 評価表を用いて事例を振り返り、より良い相談対応について考えることができた



10. 今後評価表を用いた事例検討を自施設で実施しようと思うか



11. 研修の満足度



12.研修に関する意見や感想

- 進行がスムーズでよかった。時間が短いにも関わらず、中身が濃いものであり、吸収がなかなか難しかった。体力的には大変ですが、分割しながらゆっくり長時間で学びたいと思いました。
- 自分で気づけなかった視点がたくさんあり、患者家族の情報を引き出すための新しい視点に気づきました。また評価表を用いて、複数人で事例検討することの大切さについても学ぶことができました。
- 他の方の意見を聞き、相談員としての考え方や関わり方、言葉がけなど新たな発見ができ、これからの業務に活かしていきたいと思いました
- 評価表について講義で学び、理解したつもりでさあ記入しようと思うと筆がとまる、という状況なので、まだまだ訓練が必要だなと思っています。
- 参加者の意見をきき、新たな気づき、学びをえられました。
- 今後の相談対応にとっても参考になりました。ほかの相談員さんの意見が聞けてよかったです。
- 楽しかったです
- 面白かったです
- GW時間がもう少しあるとよいと思いました
- 早速、明日から日々活用していきたいと思います。評価表を用い、相談の質改善に努めていきます。参加させていただきありがとうございました。
- たくさんの意見を聞くことができ、今後の相談対応に活かせればと思いました。
- 構造化したルール(評価表)があると、複数人でフィードバックを行う際に、とてもやりやすかったです。今後、面接、電話対応するときに、評価表を意識しながらのぞみたいです。
- グループ内の意見、他のグループの意見がきけて勉強になりました
- 他の参加者の意見を聞き、新たな気づきがありました。評価表を自施設でも取り入れたいと思うが、時間の確保等課題はあり、今後検討していきたいです。

13.今後取り上げてほしいテーマ

- 感情的(がんと告げられたばかり、予後が短い、死後)になる場面での患者・家族対応の方法
- 事例提供者に感謝です